

破傷風ワクチンと抗毒素に関する説明と同意書

- ・破傷風はおもに土壌中などに存在する破傷風菌による感染症です。
- ・ごく小さな傷からも破傷風が発症した報告があります。
- ・一旦発症すると死亡率は20～50%とされています。
- ・破傷風の発症予防のためには、早期の創傷処置とワクチンや抗毒素の適切な投与が重要です。

一般名	沈降破傷風トキソイド	抗破傷風ヒト免疫グロブリン (HTIG)
製品名		テタノブリン、テタノセーラ、テタガム
	ワクチン	血漿分画製剤 (抗毒素)
	破傷風菌を培養し、得られた毒素液にホルマリンを加えて無毒化したもの	
効能効果	破傷風の予防	破傷風の発症予防並びに発症後の症状軽減
投与間隔	基礎免疫として3回接種後、10年毎に1回 (2回目: 3～8週後、3回目: 6～12ヶ月後)	
投与方法 および 投与量	初回免疫後6箇月以上の間隔において、0.5mLを筋注する	250単位を溶解液2mLで溶解し筋注する
慎重投与 すべき人	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎疾患を有する高齢者 ・妊婦または妊娠している可能性のある女性 	<ul style="list-style-type: none"> ・IgA欠損症の患者 ・溶血性・失血性貧血の患者 ・免疫不全患者・免疫抑制状態の患者 ・妊婦
副作用	ショック、アナフィラキシー、注射部位の腫脹、硬結、疼痛	ショック、過敏症、注射部位の腫脹、硬結、疼痛、肝炎ウイルスや未知の病原体に感染するリスク

説明医師名: _____

上記内容を理解した上で以下の投与を受けることを希望します。

- 沈降破傷風トキソイド (ワクチン)
- 抗破傷風ヒト免疫グロブリン (抗毒素)

お名前: _____ 日付: _____ 年 _____ 月 _____ 日

くまもと温石病院 外来